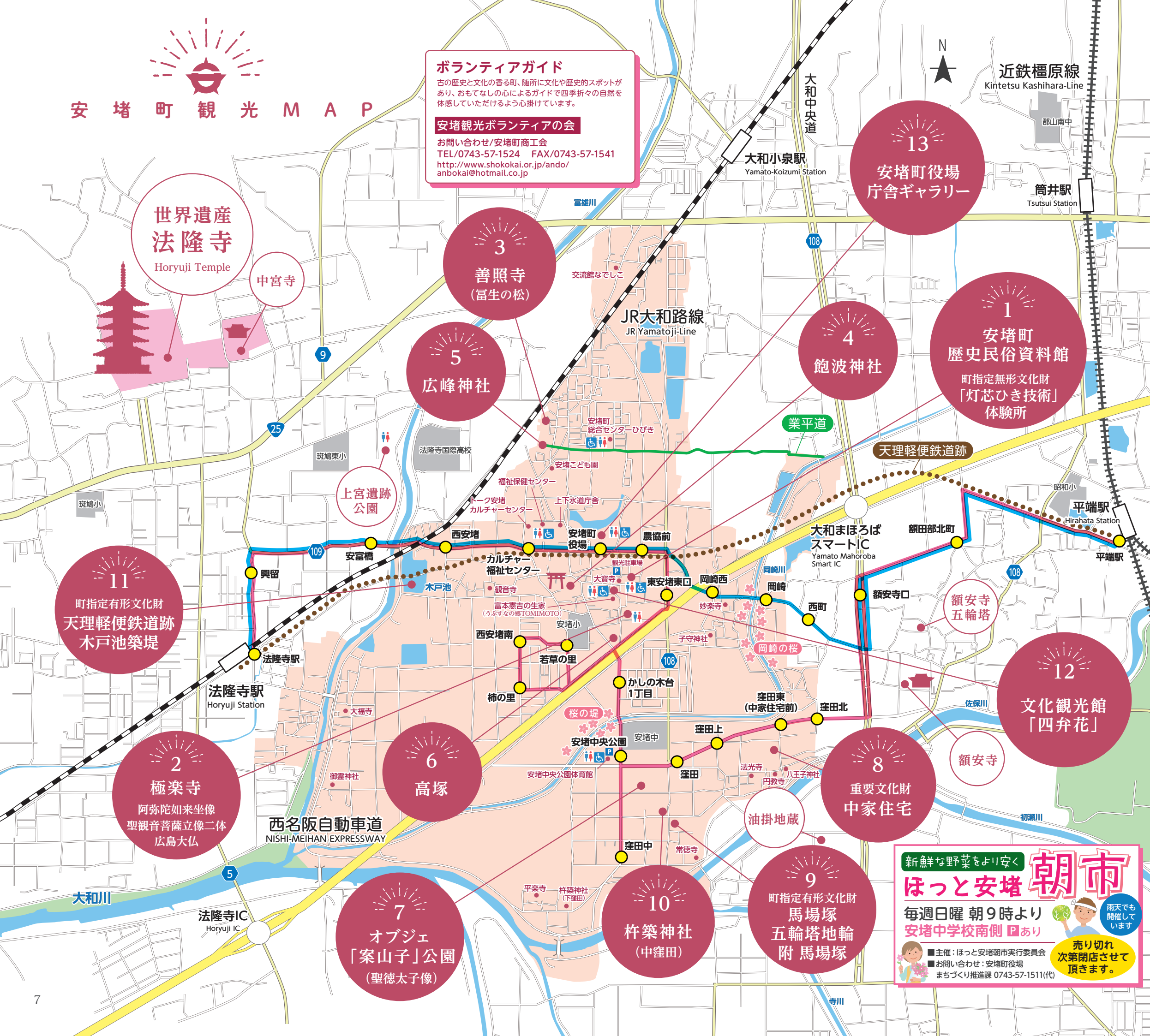


安堵町観光MAP

ボランティアガイド
 古の歴史と文化の香る町、随所に文化や歴史的スポットがあり、おもてなしの心によるガイドで四季折々の自然を体感していただけるよう心掛けています。

安堵観光ボランティアの会
 お問い合わせ/安堵町商工会
 TEL/0743-57-1524 FAX/0743-57-1541
<http://www.shokokai.or.jp/ando/anbokai@hotmail.co.jp>



- 1 安堵町歴史民俗資料館
〒639-1061 奈良県生駒郡安堵町東安堵 1322
TEL:0743-57-5090
FAX:0743-57-8895
- 2 極楽寺
〒639-1061 奈良県生駒郡安堵町東安堵 1453
- 3 善照寺(富生の松)
〒639-1061 奈良県生駒郡安堵町東安堵 342
- 4 飽波神社
〒639-1061 奈良県生駒郡安堵町東安堵 1379
- 5 広峰神社
〒639-1061 奈良県生駒郡安堵町東安堵 380
- 6 高塚
〒639-1061 奈良県生駒郡安堵町東安堵
- 7 オブジェ「案山子」公園
〒639-1064 奈良県生駒郡安堵町窪田
- 8 中家住宅
〒639-1064 奈良県生駒郡安堵町窪田 133
TEL:0743-57-2284
- 9 馬場塚 五輪塔地輪 附 馬場塚
〒639-1064 奈良県生駒郡安堵町窪田
- 10 杵築神社(中窪田)
〒639-1064 奈良県生駒郡安堵町窪田 424
- 11 天理軽便鉄道跡木戸池築堤
〒639-1066 奈良県生駒郡安堵町西安堵
- 12 文化観光館「四弁花」
〒639-1061 奈良県生駒郡安堵町東安堵 1352-1
TEL:0743-57-1540
FAX:0743-57-1541
- 13 安堵町役場庁舎ギャラリー
〒639-1095 奈良県生駒郡安堵町東安堵 958
TEL:0743-57-1511(代)

安堵町コミュニティバス

●バス停

— 南回りルート

— 中通りルート

奈良交通(NCバス)郡山営業所 TEL:0743-58-3033

新鮮な野菜をより安く **朝市**

ほっと安堵

毎週日曜 朝9時より
安堵中学校南側 あり

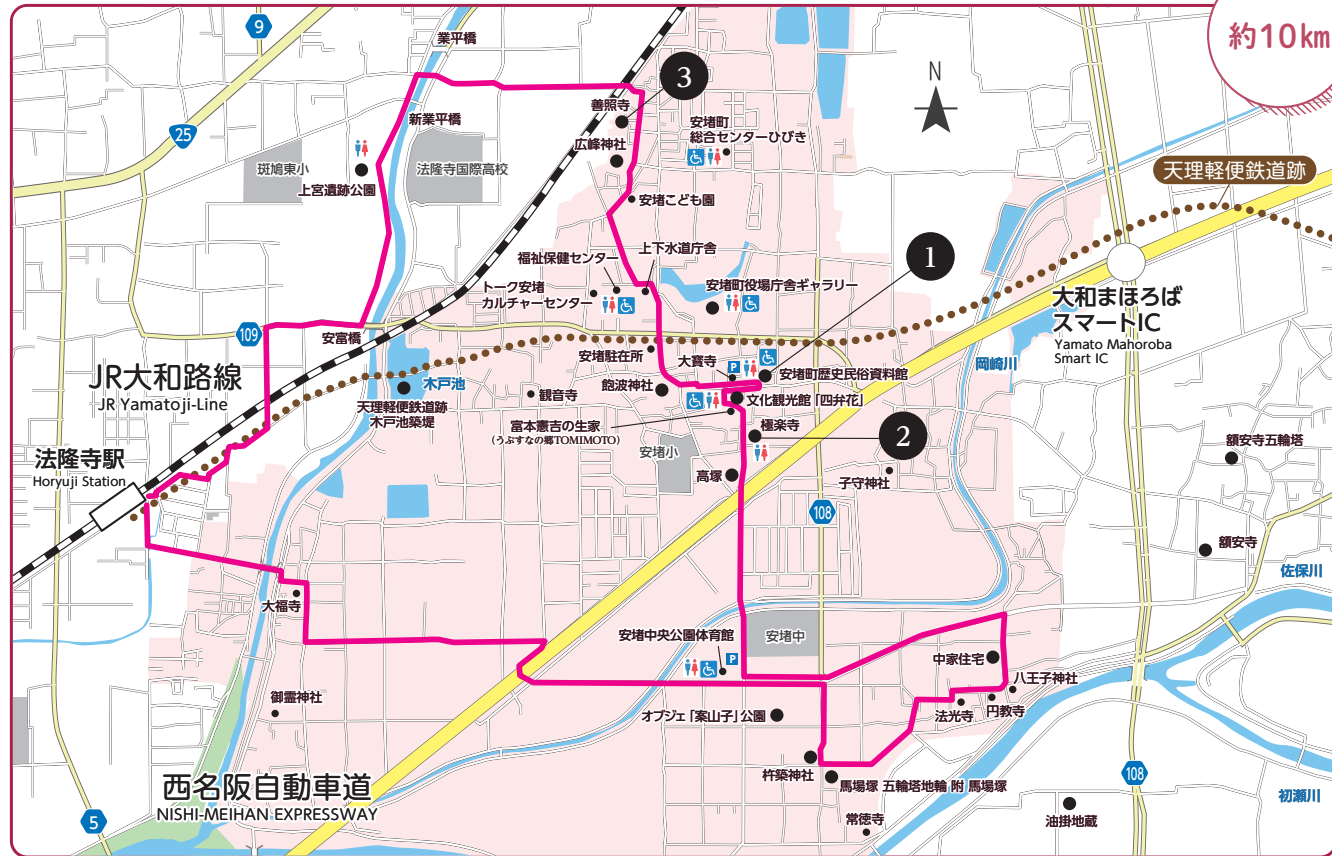
■主催:ほっと安堵朝市実行委員会
■お問い合わせ:安堵町役場
まちづくり推進課 0743-57-1511(代)

雨天でも開催しています

売り切れ次第閉店させていただきます

安堵町モデルコース

Model Sightseeing Course



安堵町モデルコース

安堵町の見所がバランスよく楽しめるオススメのウォーキングコースです。

1 安堵町歴史民俗資料館

奈良県再設置の功労者である今村勤三の生家に安堵町に関する資料が展示されています。伝統産業である灯芯づくりも紹介されています。

Ando Town Historical Folklore Museum

On display are materials related to the town of Ando in the remains of the home of Imamura Kinzo, who was instrumental to the re-institution of Nara Prefecture. Exhibits about the traditional industry of lamp wick making are also presented.



安堵町ホームページ内
歴史民俗資料館紹介



安堵町歴史民俗資料館
公式ホームページ

安堵町歴史民俗資料館 TEL:0743-57-5090 FAX:0743-57-8895

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:00まで 火曜日休館)
入館料 一般 200円 高・大生 100円 小・中学生 50円

2 極楽寺 TEL:0743-57-2231 拝観時間 8:00～17:00

聖徳太子の創建と伝えられる寺。本尊阿弥陀如来坐像(重要文化財)、終戦直後に広島市で原爆犠牲者を弔った広島大仏(阿弥陀如来坐像)などが安置されています。601巻の大般若経も毎年「大般若転読会」で見ることができます。春には梅の名所として有名。

Gokurakuji Temple (The Hiroshima Great Buddha)

It is said that this temple was founded by Prince Shotoku. Enscned here are the Honzon Amidanorai Zazo (the principle image of the Amitabha Tathagata, seated; an important cultural asset) and the Hiroshima Great Buddha (Amidanorai Zazo (Amitabha Tathagata, seated)), which was built immediately after World War II to mourn those who died to the nuclear bomb at Hiroshima. The 601 volumes of the Daihannya-kyo can also be seen here every year at the Daihannya Tendokukai gathering. The temple is famous as a Japanese plum blossom viewing spot in the spring.

3 善照寺(富生の松)

境内には、福井県より水路で運ばれてきたと伝わる樹齢およそ300年になる「富生の松」があります。根が大きく盛り上がるように作られたのが特徴です。

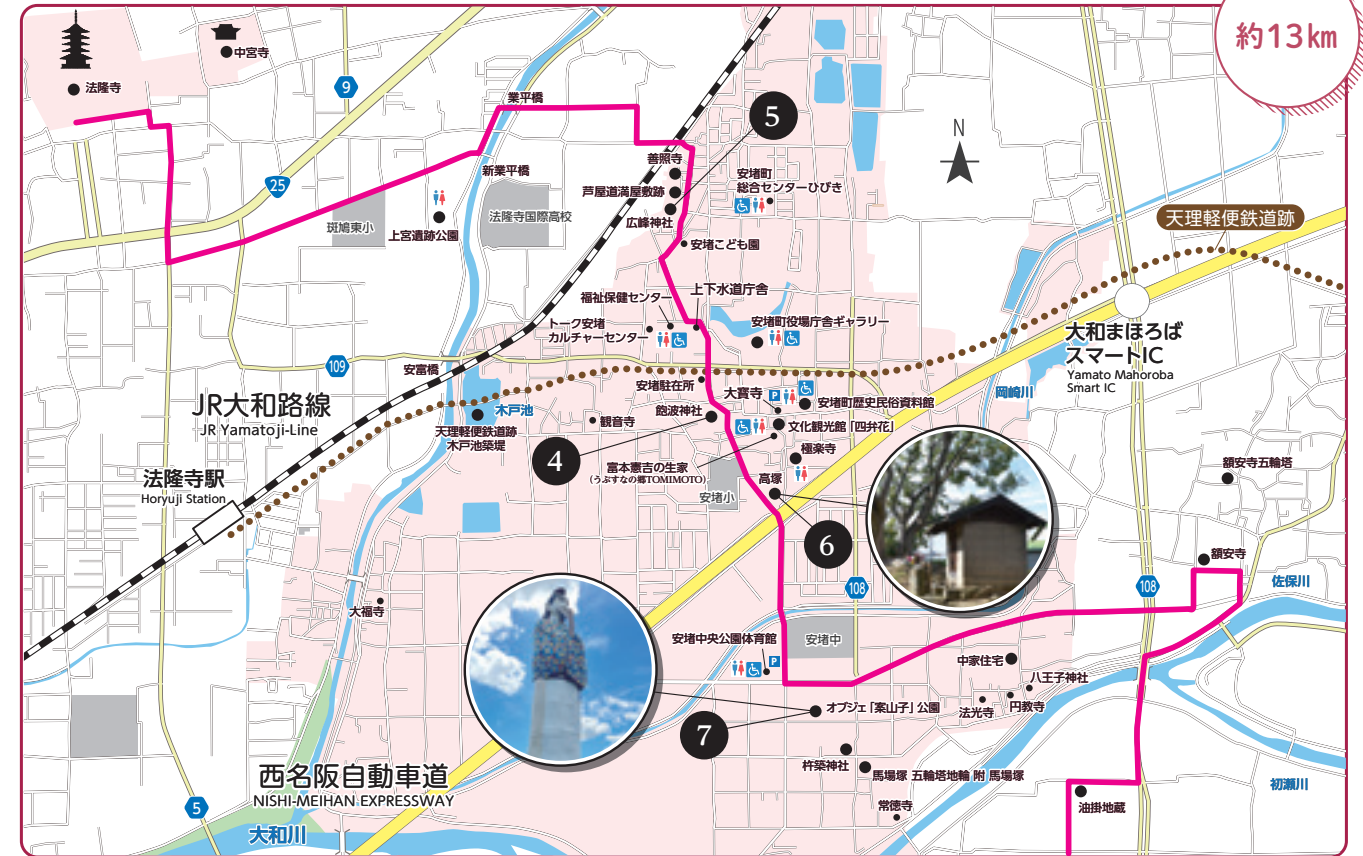
Zenshoji Temple (The Pine of Fusho)

Inside the grounds of this temple lies a nearly 300-year-old Japanese pine tree known as the Pine of Fusho, which is said to have been transported from Fukui Prefecture over the sea. With its characteristic root structure arranged to swell up greatly from the ground.



太子道コース

Taishimichi "Prince's Road" Course



太子道コース

聖徳太子が法隆寺から明日香の橘寺まで通ったとされる太子道の中の、安堵町を中心としたコースです。

4 鮑波神社

あくなみ

東安堵・西安堵の総鎮守社で、素戔鳴尊が祀られています。平成7(1995)年におよそ100年の時を経て復興された「なもで踊り」の絵馬や祭具、楽器を所蔵しています。鳥居に掲げられた額は富本憲吉の筆によるものです。

Akunami Shrine (Main Hall: Designated as a Cultural Asset by Nara Prefecture)

This shrine is designated for the protection of both eastern Ando and western Ando, and deifies Susanoo no Mikoto (the Shinto god of the sea and storms). The temple houses the votive pictures, ritualistic implements, and musical instruments for the Namode dance, which was revived after 100 years in 1995. The frame hung from the Shinto gateway is based on writing by Tomimoto Kenkichi.

5 広峰神社

ひろみね

聖徳太子ゆかりの鮑波葦垣宮と伝わる地に建てられた神社です。鳥居前にある井戸は、業平姿見の井戸とも呼ばれています。

広峰神社の北方に通称ヤップ山と呼ばれているところが芦屋道満の屋敷跡といわれています。道満は平安時代の有名な陰陽師で、安倍晴明と術くらべをしたと伝えられる人物です。

6 高塚

たかつか

大きな「せんだんの木」がありましたが、昭和28(1953)年の台風により倒れました。残った根元の南側に大石があり、この下に昔、タカ狩りをした殿様のタカを埋めてありタカ塚になったとも、聖徳太子がかわいがったタカを埋めたともいわれています。

7 聖徳太子の案山子像(オブジェ「案山子」公園)

聖徳太子をモチーフとした高さ約12mの案山子像。この案山子像は、飛鳥時代に聖徳太子が法隆寺(斑鳩町)から飛鳥宮(明日香村)までを行き来したとされる「太子道」沿いにあり、法隆寺の方角(北西)を向いています。安堵町では、オブジェ『案山子』制作展示実行委員会が中心となり、町内の各種団体とともに案山子の制作に取り組んでいます。この案山子像は、本事業のシンボルとなるものです。

The Scarecrow Statue, PRINCE SHOTOKU

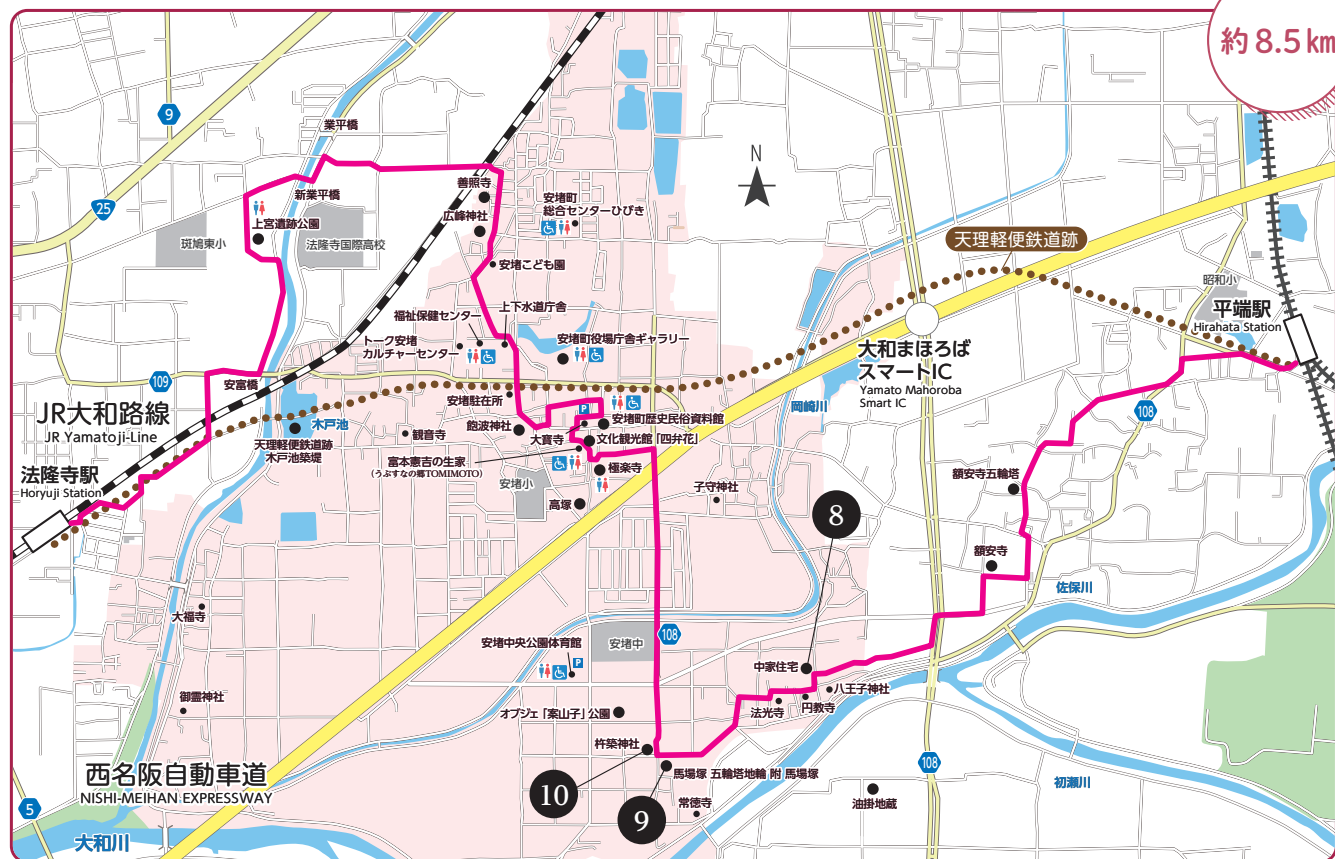
The scarecrow statue, at a height of about 12 meters, is based on a motif of Prince Shotoku. This statue is along the Taishimichi (The Prince's Road) where it is said that Prince Shotoku actually walked from his home at Horyu-ji (in Ikaruga-cho) to his work place at Asuka no miya (in Asuka-mura). The scarecrow statue faces the direction of Horyu-ji. In Ando-cho, the 'Scarecrow' Statue Executive Committee in charge of making and displaying scarecrow statues leads groups organized by townspeople and works on the project together to make these statues. This statue, Prince Shotoku, is the main symbol of their work.

オブジェ『案山子』制作展示実行委員会

『Scarecrow』Statue Executive Committee



安堵町立安堵中学校の校旗や校章は、このタカにちなみ辻本忠次氏がデザインされたものです。



奈良県

「歩く・なら」推奨コース

奈良県の情報サイト「歩く・なら」に掲載している、
楽しく歩いて奈良を体感できるコースです。

8 なかけ 中家住宅 (重要文化財)

二重の濠をめぐらせた大和の環濠屋敷で、中世武士の平城式居館の姿をよくとどめています。
広い敷地内には、大和棟の主屋、表門、新座敷、持仏堂、庫裏、勾玉型のめずらしい
かまどや蒸し風呂などがあり、豪農の生活がしのべれます。

Nakake Jutaku (Naka Residence, an Important Cultural Asset)

In the circular-moat Yamato mansion around which runs a double moat, you can get a clear picture of the Hirajiro-style residence of a medieval samurai. In the large grounds, there many relics that give a sense of life in those times, including the main building in the Yamato - mune style, the front gate, a new parlor, a jibutsudo (personal Buddhist shrine), a priest's quarters, an unusual teardrop-shaped furnace, and a steam bath.

中家住宅 TEL:0743-57-2284

維持管理協力金 500 円

見学のご予約は前日までにお願いします。

予約制

「歩く・なら」

探して楽しい、歩いて感慨深い、奈良の素晴らしさをお伝えするのが「歩く・なら」推奨ルートです。季節や目的・距離など、自分にあったルートを選択できます。
<http://www3.pref.nara.jp/miryoku/aruku/>



9 ばばづか ごりんとうちりんつけたりばばづか 馬場塚 五輪塔地輪 附 馬場塚

1本の大きな木の根元に五輪塔(地輪部)が立っています。戦国時代、甲斐の武田勝頼の
重臣であり、長篠の合戦で敗死した馬場美濃守信房の供養塔だといわれています。

Babazuka

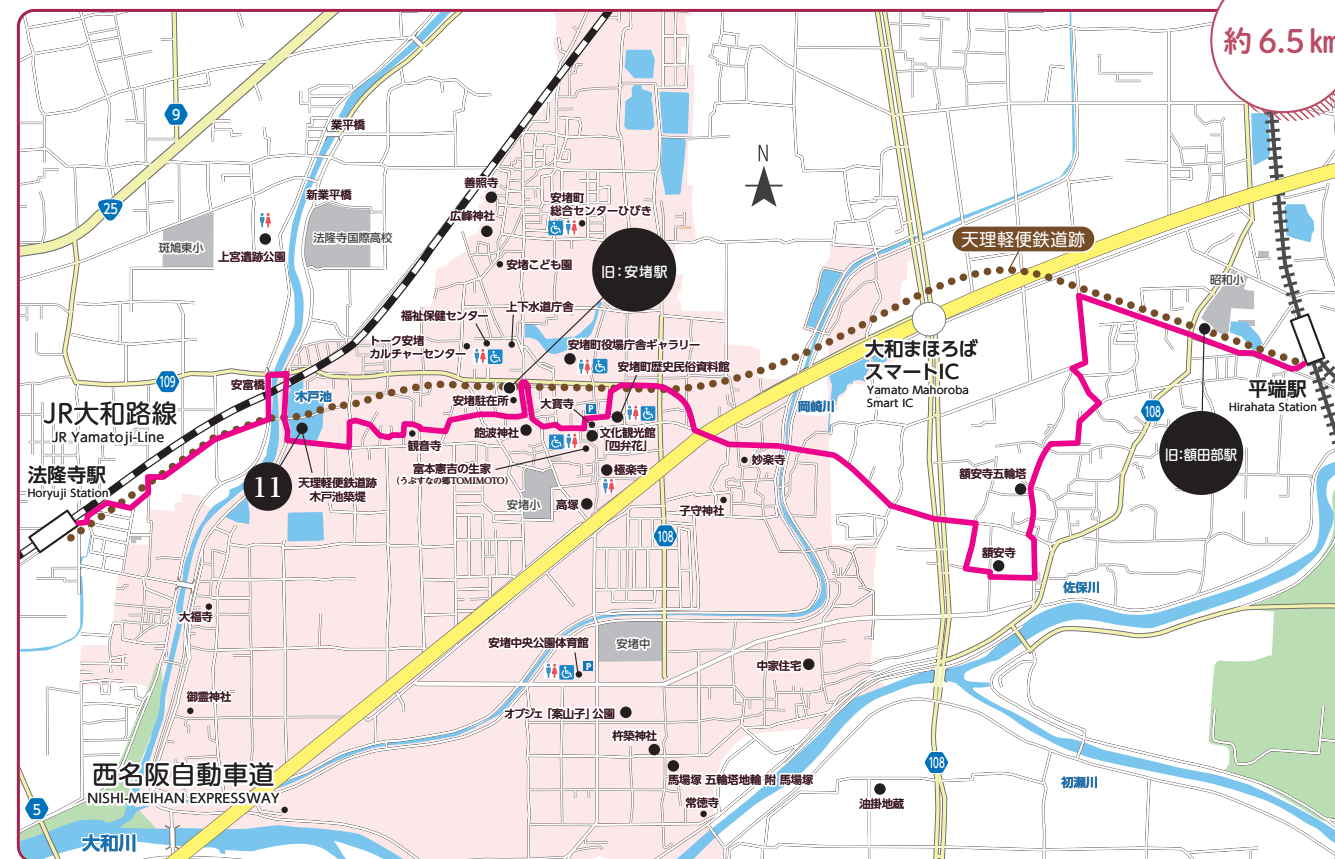
Here a five-ring tower (the cubic bottom ring portion) stands at the base of a single large tree. In the Sengoku Period, Baba Mino no Kami Nobufusa was the vassal of Takeda Katsuyori of the Kai Province and this tower is said to be his memorial tower after he was fatally defeated in the Battle of Nagashino.

10 きづき 杵築神社 (中窪田)

素戔鳴命を祀る神社。境内には十三重層塔 (現在は崩れて七重になっている)があり、平安時代の造立説があります。

Kiduki Shrine

This is a shrine that deifies Susanoo no Mikoto. In the grounds is a thirteen-story tower (now collapsed to seven stories) that is theorized to have been built in the Heian Period.



天理軽便鉄道跡コース

戦前利用されていた天理軽便鉄道の跡をめぐる
鉄道好きも歴史好きにも楽しめるコースです。

11 けいべんてつどう き ど いけちくてい 天理軽便鉄道跡 木戸池築堤

軽便鉄道は戦前に多く利用されていたミニ鉄道のことで、開通当時は蒸気機関車が走っていました。
西安堵木戸池内にレンガ組の築堤が残っており、当時の面影をしのぶことができます。

Remains of a Bridge Girder of the Former Tenri Keiben Railway
(Kido Pond Embankment)

The Keiben railway was a mini-railroad of the type often used before World War II, and at the time steam-powered trains ran on it. Within the Kido Pond in western Ando there remains a brick embankment, allowing you to see a vestige of that era.



昭和初期 安堵駅 『平城運都1300年記念事業今昔集』より

辻本忠夫氏スケッチより 資料提供 辻本奨氏

天理軽便鉄道 模型運転会

2月11日 午後1時30分～

かつて安堵町を通過していた天理軽便鉄道の最終運転日に
ちなみ、復元車両などを走らせます。(※乗車運転会ではありません。)

場所: 安堵町歴史民俗資料館

入館料: 200円(小学生・中学生50円、高校生・大学生100円)

申込: 事前申込、または当日参加

Tenri Keiben Railway

(Visitors can enjoy viewing the running of a small scale model railway train.)

Date/time: February 11 / Begins from 1:30 pm

Place: Ando Historical Folklore Museum

Admission fee: Yen 200 - Adults

Yen 50 - Elementary and Junior High School Students

Yen 100 - High School and College Students

※Please make a reservation in advance. TEL 0743-57-5090

On February 11, Tenri Keiben Railway made its final run through Ando town.

At the event, we will display a replica model train. (※The model train is for viewing only.)

安堵町歴史民俗資料館では安堵駅周辺の風景を復元したジオラマ模型や実際に使われたレールなどを展示しています。

Ando Historical Folklore Museum
We display a model of the actual railway line together with its traditional surrounding scenery of Ando town.





安堵町一帯は、奈良盆地の中で最も低いところに位置し、奈良盆地を流れる河川のほとんどがこの地付近で合流します。飛鳥時代には難波と飛鳥を結ぶ水上交通の要衝で、隋や唐などの、大陸の国々との交流に重要な拠点となっていました。日本書紀にも「阿斗桑市」や「阿斗のかわべのむろつみ」(迎賓館のこと)などの記述が見られます。

この水上交通は、のちに大きな流通へと発展し、大和の経済を支えました。水量がある大坂の方は剣先舟が、水深が浅い大和の方は「魚梁舟」とよばれる小型の川船が荷を運んでいました。魚梁舟は大和各地から集めたお米を大坂に、大坂から肥料や塩を大和各地に運んでいました。交易は、中世から明治の中頃まで盛んで、大和各地の荷揚げ浜は御幸ヶ瀬浜(現在の安堵町笠目:御幸橋付近)や、板屋ヶ瀬浜(現在の安堵町窪田・大和郡山市の境界付近)など、多くの人でにぎわっていました。



資料提供 辻本要之氏



なもで踊り



左図:
飽波神社のなもで踊り図絵馬
宝暦6(1756)年



♪テンツクツ テンツクツ
テンテンツクツ テンツクツ〜♪
お囃子に乗って、村人たちが雨乞いをしています。



と、そこへ鬼(雷神)が現れ、たちまち雨が!



(喜ぶ村人たち)
〜♪ありがたや 安堵の明神ありがたや
雨は降らしやる雨は降らしやる
立願の踊りは ひと踊り〜♪



陸路では、太子道が通じていて、聖徳太子が住居のあった斑鳩宮から飛鳥まで愛馬の黒駒で通ったとされます。飛鳥時代には、南北に走る大きな道、上つ道、中つ道、下つ道に対して、西に20度ほど傾いていたため、「筋違道」とも呼ばれていました。この太子道沿いには、太子ゆかりの跡が数々残されています。かつて聖徳太子が見たであろう景色に思いを馳せながら、歩いてみてはいかがでしょうか。



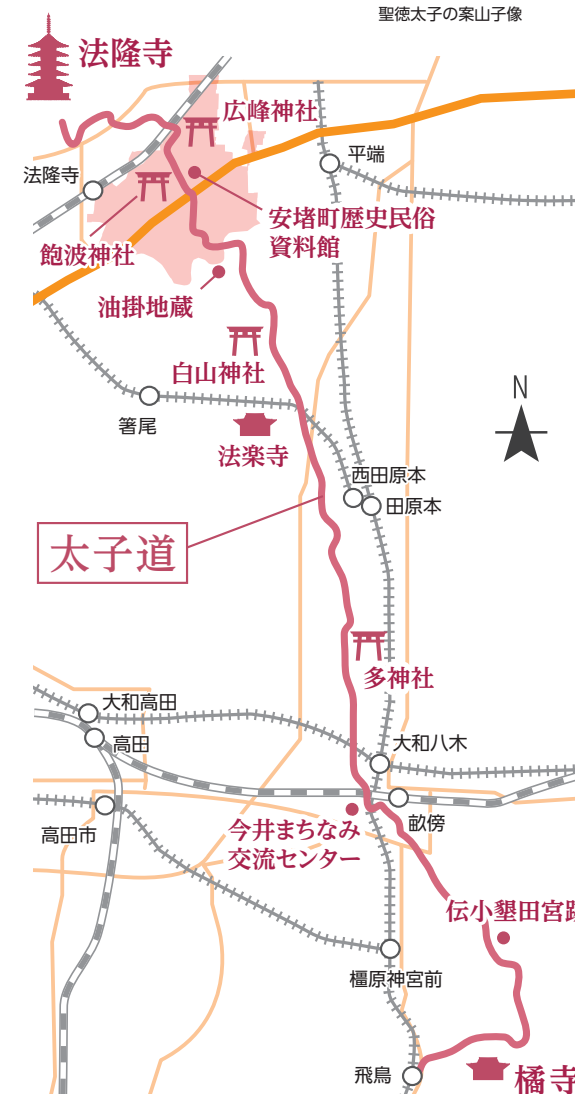
飽波神社



飽波神社の太子腰掛け石



聖徳太子の案山子像



Water Transportation

The Ando area is located in a low portion of the Nara basin at the confluence of most of its rivers. As such, the town was a key point for water transportation in the Asuka Period, linking Namba and Asuka. Ando was also an important hub for Japan's interaction with the Sui and Tang dynasties, as well as other countries of mainland Asia. The name "Ato" can be seen in various place names listed in the Nihon Shoki (Chronicles of Japan), such as Ato no Kuwaichi and Ato no Kawabe no Yakata (a state guest house).

Taishimichi (The Prince's Road)

With regard to land transport, it is traditional held that the Taishimichi that runs through Ando was the road taken by Prince Shotoku from his home in Ikaruga Palace to Asuka, on his favorite horse named Kurokoma. The Taishimichi is also known as the Sujikaimichi ("diagonal brace road") because it is tilted about 20 degrees to the west from the major north-south roads in the Asuka Period, which were the Kamitsumichi, Nakatsumichi, and Shimotsumichi.

と み も と け ん き ち
近代陶芸の巨匠 富本 憲吉

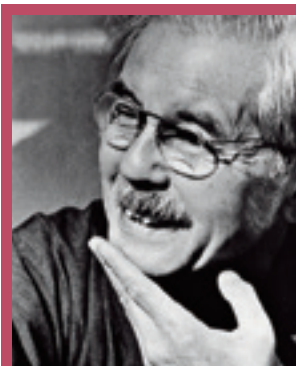
安堵町出身の富本憲吉(1886 ～ 1963)は、日本近代陶芸の巨匠として広く知られています。昭和30(1955)年には重要無形文化財技術保持者(人間国宝)にも認定され、また昭和36(1961)年には文化勲章を受章しています。安堵の美しい自然と景観のなかで育まれたところと技は、近代陶芸の巨匠と呼ばれる憲吉独自の清純で華麗な世界をつくりあげました。繊細で美しく気品にあふれる色絵磁器の数々は特に必見です。彼の残した足跡は、「陶芸のさと安堵」として後世に受け継がれているのです。



富本憲吉の生家(現:うぶすなの郷TOMIMOTO)



赤地金銀彩染付 村落遠望図大陶板 制作年1959年



富本 憲吉

1886 年(明治 19 年)
東安堵村(現奈良県生駒郡安堵町東安堵)の旧家、富本家の長男として誕生。
1913 年(大正 2 年)
安堵の自宅に茶焼窯を築く。
1926 年(大正 15 年・昭和 1 年)
東京移住。
1935 年(昭和 10 年)
帝国美術学校(現武蔵野美術大学)教授に就任。
1945 年(昭和 20 年)
工芸技術講習所の職員・生徒は飛騨高山に疎開する。終戦後、職員・生徒は本校に帰ったが、憲吉は高山に残留し、研究と制作を続けた。
1946 年(昭和 21 年)
単身郷里安堵へ帰る。東京美術学校教授、帝国芸術院会員を辞任する。
1950 年(昭和 25 年)
京都市立美術大学教授に就任。
1955 年(昭和 30 年)
第 1 回重要無形文化財技術保持者(色絵磁器)に認定される。
1961 年(昭和 36 年)
文化勲章受章。
1963 年(昭和 38 年)
京都市立美術大学学長に選任されるも、6 月に逝去。従三位勲二等旭日重光章を贈られる。

奈良県再設置の功労者

い ま む ら き ん ぞ う
今 村 勤 三

日本医学界の歴史特に
感染症医療で大きな功績

い ま む ら あ ら お
今 村 荒 男

今村家は、東安堵村で代々庄屋役などの村役を務めた家です。村の氏神である飽波神社宮座の座長としても名を連ね、江戸期の貞享年間(1684～1688)にはその存在を確認することができます。

この今村邸(現安堵町歴史民俗資料館)は、明治20(1887) 年に大阪府から奈良県を独立・再設置に導いた運動家である今村勤三(1852～1924)や、大阪帝国大学(現大阪大学)第5代総長を務め医学界への多大な功績により文化功労者として顕彰された今村荒男の生家でもあります。



今村 勤三



今村 荒男



今村勤三・ササノ夫婦

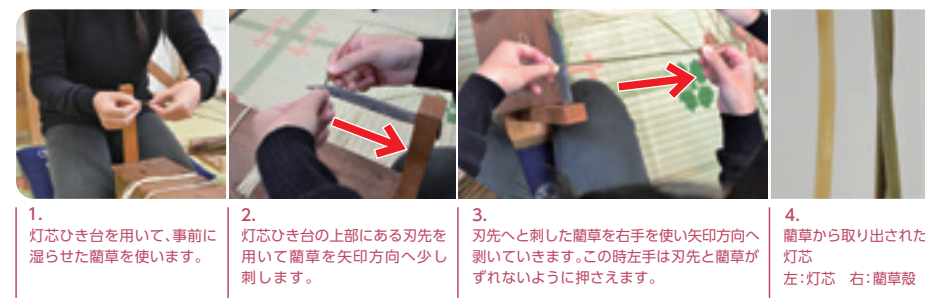


今村勤三の生家(現:安堵町歴史民俗資料館) P.9

と う し ん
灯 芯 ひ き 技 術

灯芯は藺草の皮を除いた“髓”の部分で、油をしみ込ませて火をともしには最適の素材です。よく水に浸した藺草を「ひき台」とよばれる道具の刃で外皮をひき裂き、“髓”を切断することなくひき出します。灯芯は、和ろうそくの芯としても使われています。竹串に和紙、灯芯を巻き付けていきます。さらに真綿(絹)を絡めて芯を作ります。古くから、日本に伝わったろうそく作りの技術が、天然のハゼの実を原料として、独自の和ろうそく作りを発展させてきました。和ろうそくは洋ろうそくにはない、ほのかに優しい揺らぎのある灯りを届けてくれます。

灯 芯 ひ き



芯 巻 き



写真提供：中川商店(安堵町)

写真提供：三嶋ろうそく店(岐阜県飛騨市)

い ぐ さ
藺 草 作 り



生育した藺草



藺干し風景



長灯芯

Tomimoto Kenkichi, a Master of Modern Ceramic

Tomimoto Kenkichi (1886-1963), who was born in Ando, is widely recognized as a master of modern Japanese ceramics. In 1955 he was designated as a holder of important intangible cultural assets (a living national treasure) and in 1961 he received the Order of Cultural Merit.

Arao Imamura, The History of the Japanese medical community, especially great achievements in the treatment of infectious diseases.

This Imamura Residence (currently the Ando Town Museum of History and Folklore) is home to Kinzo Imamura, a campaigner who led the independence and reestablishment of Nara Prefecture from Osaka Prefecture in 1887. Arao Imamura, As the 5th president of Osaka University, he was Honored as a person of Cultural Merit for his great achievements in the medical world.

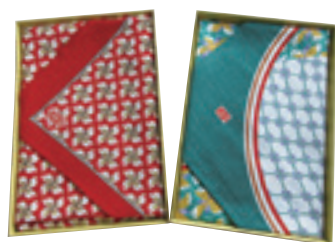
Lamp Wick Making(Toushin-hiki), a Traditional Industry

Lamp wicks are made from the piths of stalks of Japanese lamp rush (a type of grass) with the husks removed, providing the ideal material for lamp lighting because of how it absorbs the oil. Lamp rush stalks that have been thoroughly soaked in water have their husks torn off with the blade of a tool called a "hikidai" (pulling board), enabling the piths to be pulled out without cutting them. These lamp wicks are also used as the wicks of Japanese candles in a process that involves wrapping bamboo skewers in Japanese paper and lamp wick material, then lacing silk around the result to make the candle wick. The method for candle-making handed down from ancient times in Japan uses natural wax from the fruit of the Japanese wax tree, and has driven the independent production of Japanese candles. Unlike candles from the West, Japanese candles give off a light (Akari) with a faintly gentle sway.

安堵町
文化観光館
「四弁花」

お問い合わせ
TEL.0743-57-1540

富本憲吉「四弁花」模様



風呂敷サイズ
(左) 68cm×68cm
(右) 41cm×41cm

2,000円(税込)

880円(税込)



2,500円(税込)



1,500円(税込)

オリジナル風呂敷、ネクタイピン、あんどかるた
日本近代陶芸の巨匠、富本憲吉の代表的な四弁花模様の作品を用いて
製作された風呂敷とネクタイピンです。

安堵町
歴史民俗
資料館

お問い合わせ
TEL.0743-57-5090

灯芯 Tōshin

とうしん
灯芯について…16 ページ



左:2本入り 600円(税込) 右上:絵ろうそく 2,200円(税込)
右下:5本入り 700円(税込)

和ろうそく
灯芯を用いた
和ろうそく



切り灯芯

蘭草からひき出された灯芯を灯明皿や
たんころに使用できるサイズとなります。
100円(税込)



たんころ
灯芯を油で灯す
灯火具です。
1ヶ 500円(税込)



ミニ行灯「しあわせの灯」
左: 2,000円(税込)
右: 3,000円(税込)



大和なたね油
500ml 1,200円(税込)
200ml 600円(税込)

蘭草 Igusa

蘭草を使った飾りです。
いぐさ
蘭草について…16 ページ



匂い袋 1ヶ 100円(税込)
蘭草に精油を染みこませた匂い袋



千鶴万亀
2,000円(税込)

古代米 Kodaimai

大和古代米
1ヶ 300円(税込)

赤米
赤飯の原種であり、
タンニン系の色素
が含まれ現代では、
健康食品として注
目されています。

緑米
収穫量が少ない品種で希少種
とされ、クロロフィル系の色素
が含まれて赤米と同じく健康
食品として注目されています。



実り
赤米と緑米をブレンドしました。



古代米かきもち

赤米を使用した非常にヘルシーな
かきもちです。

1ヶ 400円(税込)
2ヶ 700円(税込)
3ヶ 1,000円(税込)

中家住宅

お問い合わせ
TEL.0743-57-2284



「中家の魅力」
中世武士の生活を今に伝える貴重な
「中家住宅」の魅力を紹介する本。周辺
の歴史解説もされています。
1,900円



「太子道 聖徳太子の道を往く」
太子道の主要なルートを紹介
する、史跡探訪に必携の書です。
1,800円



一筆箋

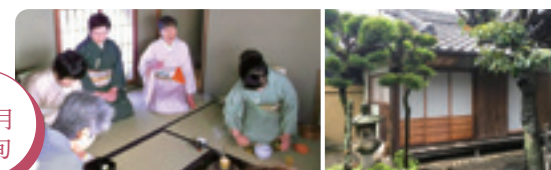
ちょっと一言添えたいときに便利な一筆箋。
万葉の花など約 30 種類もの趣あふれる日本画一筆箋を
取り扱っています。

1冊 350円 3冊 1,000円

初釜茶会

場所: 安堵町歴史民俗資料館

1月
中旬



天理軽便鉄道模型運転会

場所: 安堵町歴史民俗資料館

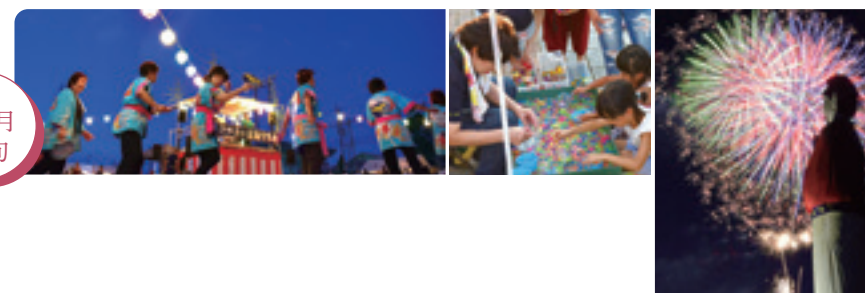
2月
11日



安堵町ふれあい
盆踊り大会

場所: 安堵中央公園

8月
下旬



なもで踊り奉納

場所: 鮑波神社

10月
下旬



安堵町文化祭

場所: トーク安堵カルチャーセンター

11月
上旬



安堵町
産業フェスティバル

場所: 安堵中央公園

11月
下旬

